

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		カナガク放課後デイ 辻堂校				スタッフ5名回答	公表日	2025 年 3 月 3 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		第三者機関を設置出来ていないので、今後業務改善の為に設置する必要がある。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	事業所内での研修は定期的に行っているが、更なる向上のために外部の研修にも全体で積極的に参加していく。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		毎日確実に出来ている状況ではないので、申し合わせのタイミングなど検討していく必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		当日に可能な限り行っているが、状況によっては日を持ち越してケース会議等で共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	2		定期的に行えるように、実施計画を立てて明確にする必要がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		市の子ども部会等に参加し、連携がとれる関係作りに取り組んでいるが、実際には福祉、教育の関係としか連携関係にない。今後他機関とも連携を強化していく必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	事業所に担当者を配置し、関係機関との窓口をつくることで日頃から情報共有のできる環境を作っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	相談員を通じて、就学前の様子を聞き取っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	相談員を通じて、情報共有を図っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		地域内での合同の活動は現在出来ていないので、今後機会をつくっていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		ペアレント・トレーニングの場は設けてはいないが、個々の児童に対して事業所が行っている支援内容を共有し、家庭でも取り組んでもらっている。今後必要に応じて場を作っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	事業所のYou TubeやInstagramの開設、HUGシステムの導入、HP等で保護者様がお子様の活動を気軽に確認ができるシステムを構築済み。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		行事への招待はないが、地域のイベントには積極的に参加していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	診断書のある食物アレルギーをもった児童はおられないが、疑いがある場合はご家族様に確認をしながら対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	該当の保護者様には同意書をとらせていただき、状況の改善に向けて計画を立てた上で支援を行っている。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		カナガク放課後デイ 辻堂駅前				公表日	2025年 3月3日	
						対象利用者		
						世帯	30世帯	回収数 17世帯
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1			子どもの人数に対し、職員数が少ないのかなと思います。	人員基準は満たしておりますが、お子様の個々の特性などを考慮したスタッフの配置を強化していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17					
保護者への説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	9	4		地域の学校の子どもも利用者で楽しく遊べているみたいです。	事業所内でも様々なお子様がおりますが、他事業所との交流の機会はほとんどないので、交流出来る機会を今後作っていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	1			ペアレント・トレーニングの場は設けてはいないが、個々の児童に対して事業所が行っている支援内容を共有し、家庭でも取り組んでもらっている。今後必要に応じて場を作っていく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	4			保護者会等の開催がどれくらいのペースで行われるのが妥当なのか分かりませんし、本人の療育を目的に事業所を利用しているので、きょうだいへの支援までは考えていないで、どちらとも言えないを選択しました。	保護者会につきましては、年に2回開催を目標に計画しておりますが、状況により計画通りの開催が出来ないこともございます。今後も保護者会等、ご家族が参加出来る会を充実させていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2			その都度、相談できる体制を取っていたいっているので、安心しています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17				メールで活動内容や写真、動画を送って頂いて楽しそうにしているのが確認できるのが安心できます。	引き続き、療育や事業に関する情報をホームページ等で発信、周知して参ります。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	2				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	7				今後、訓練実施後にHP等でその結果を報告する方法を検討します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	3	1		利用開始から現在まで事故（怪我等）がない為、どちらとも言えないと回答させていただきます。	事故等発生してしまった場合は、ご家族様に対して速やかにご説明をさせて頂いております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17				子どものやりたい活動をしてくれるので落ち着いて通えています。	今後も安心、安全な事業所作りに取り組まさせていただきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17				ほとんどが楽しく通所していますが、時々嫌な気分になり、行きたくないとなることがありますが、その都度相談できる場を設けて頂けているので安心です。スタッフの皆さん大好きなので利用できる日を楽しみにしています。	継続して、今後もお気軽に相談いただける環境を整備するとともに、お子様がより安全、安心して通える事業所作りに努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1			とても満足しています。	今後もスタッフの支援力向上に努め、充実した療育が継続できるように尽力いたします。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カナガク放課後デイ 辻堂駅前		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 18日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30世帯	(回答者数) 17世帯
○従業者評価実施期間	2025年 3月 17日 ～ 2025年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	食育を目的とした療育（農園・クッキング）を行っている事	・作物を苗植えから行い、定期的の手入れ等で実際に触れる機会をつくっている。またクッキング療育で、出来た作物を使い食べることで食の幅が広がり、経験を得る機会をつくっています。 ・療育を通して成功体験を積み重ねる事により自己効力感を育みます。	・子どもの特性に合わせた取り組み方法を充実させるため、ケース会議や研修等で子ども一人ひとりの特性について理解し、スタッフのアプローチする力を高めていきます。
2	活動プログラムが固定されないように毎回工夫されている	・個別活動や集団活動を組み合わせ行っている ・季節のイベントや、静と動の活動（遊び）を取り入れる等週ごとにいろいろな活動が経験できる工夫をしている ・スタッフ全員が企画を持ち寄り、月ごとにイベント内容を決めています。	・活動のねらいが具体的になるように一人一人の支援内容について日々の振り返りに加え、ミーティングで話し合う場を作ります。

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	朝のミーティング等、支援内容の共有や事務連絡が難しい。	勤務形態の違いから朝のミーティングに参加できないスタッフがいる。	・朝のミーティングに参加できなかった職員は主体的に参加した職員に内容確認をするように心がけます。 ・支援に関する内容や事務連絡は共有できるように伝言 ノートやなども検討していきます。
2	地域との交流や保護者やきょうだい交流の機会が乏しい	・学校行事などのスケジュールが 違うため交流会の日程調整が難しい。 ・学校終了後からの利用のため利用時間が短い。	・保護者様ニーズを把握し日程や内容を検討、保護者交流会を年に1回開催していきます。 ・感染対策に気をつけながらきょうだい交流や地域交流が行えるように検討します。
3			